

昨年度の PDCA 分科会では、がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターの業務（項目：コ）「医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や、患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援」を取り上げ、「コロナ禍におけるがんサロン」をテーマとした。

「がんサロンのあり方」について見直し各医療機関における取組みを情報共有した。がんサロンの開催が困難であったり、オンライン形式では地域のニーズに即していない状況もあることがわかった。

現在もコロナ禍であり患者活動の支援は縮小され、今後もこの状況は続くと予測される。

そこで、今年度は昨年度の PDCA で把握した課題を生かし、がんサロンの開催のみにとらわれず、「コロナ禍における患者活動支援」をテーマに活動・評価し、体制構築することを目的とした。さらに、昨年度は「評価方法が不明確」という課題があったため、評価基準を設け取り組むこととする。

広島県内がん診療連携拠点病院 13 施設と 3 施設のがん相談支援センター

P（計画）	D（実施）
<ul style="list-style-type: none"> ① 各病院 PDCA サイクル評価シートに計画・目標を記入し、6月10日までに分科会担当者へ提出 ② 第1回部会にて、分科会担当者が各病院のPDCA サイクルシートを全病院へ配布し、中間評価と最終評価方法について検討する ③ 第2回部会にて、各病院の進捗状況報告や困難点などをグループ内で検討する ④ 第3回部会にて、相互評価、全体検討・評価 ⑤ 全体検討・評価の内容を協議会に提出 	<ul style="list-style-type: none"> ①計画通り提出された。 ②第1回部会では、評価方法について検討し昨年度実施しなかった他者評価を実施することが決定された。また、評価しやすくするためにPDCAシートに「目標」記載欄を設け計画通り配布された。 ③第2回部会では、各病院の取組みや課題を共有した。 ④第3回部会グループワークでは課題等を意見交換した後ペア病院の評価をした。 ⑤福山市民病院、県立広島病院が取りまとめ、広島大学病院へ提出した。
C（点検・評価）	
<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍における患者活動支援について、がんサロンの開催だけではなく各病院の環境やニーズに応じた取り組み、工夫をしていた。 ●他病院の取組み、途中経過を確認しながら自病院の取組みに反映させたり参考にしたりすることができたため、中間評価を設けることは有効であった。 ●自己評価、他者評価をしやすくするため「目標」を記載できるようにシートを改訂した。目標に添って実施しているかについて評価はできたが、他者評価を数値で示すことは難しく「コメント記載」のみでよいのではないか。 ●他者による最終評価があることにより、各施設の目標、取組み、達成度をより踏み込んで確認でき、評価を受ける側の取り組む姿勢が変わる。 ●2年連続して同じテーマでPDCAを実施したため、年度初めから速やかに取り組むことができ内容の拡充につながった。 	
A（改善）	
<ul style="list-style-type: none"> ●他者評価を実施する場合、評価方法について検討が必要である。 ●がん診療連携拠点病院の整備指針が改訂されたため、それをテーマに取り上げると効果的にPDCAが実施できる。 	